

戸製鋼所が多様性のある組織づくりを推進している。同性パートナーや戸籍上の性別の都道府県が異なる従業員と家族に対し、法律婚と同等の厚生制度を導入した。経営管理職向けに性自認や性向への理解を深める研修を多様性に配慮した働く環境を整える。

神戸製鋼、同性パートナーも婚姻扱い

「制度を導入していない自治体もあることや、法律婚の時も結婚証明を求めないためだ。2021年の12月から導入し、数件の申請があったという。性自認や性的指向を本人の意思で選択する第三者に暴露する「アウティング」を防ぐ対策にも力を入れる。制度の申請時にダイバーシティ推進グループが、情報を開示する範囲やアウティング防止策について説明する。そのうえで制度の担当者や上司と連携して対応する。制度の利用に合わせて、理解の促進に向けた研修も充実させる。21年には経営層向けの研修を役員全員に実施したほか、全社員向けにeラーニングを導入した。22年には管理監督者向けの研修を行った。ダイバーシティ推進グループの高野道子係長は「役職ごとに必要な知識が違ってくるので、内容は研修ごとに変えた」と話す。

研修を終えた希望者には、LGBTQ（性的少数者）の社会的な課題の解決に向けて行動する人「ALLY（アライ）」を示す、独自のステッカーを配布している。これまで300人超に配布した。

多様な人材が働きやすい職場づくりとして、ハード面での課題解決も進めている。老朽化などで設備を改修する際には、性別に関係なく使えるオールジェンダートイレを導入している。ただ、社内の制度改革だけでは解決できない課題も残る。例えば、結婚祝い金は神戸製鋼の取り組みのため法律婚と同様に支給できるが、育児休業などの国の制度が使いにくいといったハードルがある。多様性のある組織づくりを推進するには、企業を超えた枠組みでの議論も重要となっている。



神戸製鋼のラグビーのイベントではロゴ入りのレインボーフラッグとアライに関するチラシを配布した

研究を終えた希望者には、LGBTQ（性的少数者）の社会的な課題の解決に向けて行動する人「ALLY（アライ）」を示す、独自のステッカーを配布している。これまで300人超に配布した。

（越智小夏）

「世界」の意識付けや啓蒙の段階だ。主要取組として、当面はスコープ1、2を優先して取り組む。スコープ1は、具体的で「一番重要なもの」を電力をできるだけ使わないことを「目標に掲げること」。例えば半導体事業の長崎工場（長崎県諫早市）では、21年度に稼働した最新のクリーンルームFIPは再生エネルギー価格が大幅に下がった場合は政府が一定の補填をする仕組みだ。23年1月から幸田工場が、年間約240万キロワット時の再生エネルギー相当の電力の供給を受ける。

「太陽光発電などの創エネも進める。21年度はデジタルカメラなどを製造する幸田工場（愛知県幸田町）と、画像センサー工場の熊本工場（熊本県菊陽町）で太陽光発電設備を新設・導入し、再生エネルギーの供給を受ける。再生エネルギーの活用手法だ。ソニーGなどが日本でも活用することを目指す。日本企業全体のGX（グリーン）の目標は、再生エネルギーの供給を受ける。再生エネルギーの活用手法だ。ソニーGなどが日本でも活用することを目指す。日本企業全体のGX（グリーン）の目標は、再生エネルギーの供給を受ける。

（古川慶一）

情報公開ページ
KJC Biz 検索
 問い合わせ ☎ 0120-22-0066
 企画・構成 (株)日経エージェンシー (株)経済情報センター TEL: 03-3364-5121

「サステナブル社会実現に向けて、注目のパートナー」

買うよりお得なエアコンプレッサーのサブスクリプションサービス

月額定額でサブスクリプションサービスを利用できる「サブスク」。これまでは映画や音楽といったデジタルコンテンツを中心としたソフトウェアがサブスクマーケットの中心だったが、最近では洋服、自動車、パソコンなどハードウェアを扱ったサブスクリプションサービスが数多く登場している。

メンテナンスも「サブスク」

A&Cサービスでは、エアコンプレッサーのサブスクリプションサービスを事業展開した。エアコンプレッサーは、多くの工場で作業に欠かせない設備だが、更新のタイミングが分からず、メンテナンスが不十分で急なトラブルに見舞われたり、初期費用が少なく、メンテナンスも「サブスク」で済ませたいというユーザーが多いことからサブスクリプションを開始した。

契約期間は5年。毎月定額の支払いにはA&Cサービスによるメンテナンス費用が含まれ、期間中、コンプレッサー本体を利用した安定操作が担保され、買取りも総額でお得になる。満了時は返却または1年単位での契約延長になる。

エアコンプレッサーはアネスト岩田製品の22kW/37kW、給油式/オイルフリーなど多様な機種を用意。機種は随時更新されるので、最新機種もお得に利用できる。

株式会社A&Cサービス
<https://www.ac-svc.com>

微細化配線技術でデジタル社会を支える

伸光製作所は、住友金属鉱山グループの会社として、主に電子回路基板の開発、製造、販売を行っており、両面板、多層板、高密度配線板（HDI）の提供をグローバルに展開している。また国内生産のみならず、顧客のニーズに応じた海外OEM先を活用して調達販売も行っている。長年培ってきた信頼と実績のもと、試作量生産製造までを一貫生産することで、高品質・高信頼性・低コストを実現している。

同社は、数十ミクロンレベルの極薄材料のハンドリング技術とピコドアップ技術により薄く高密度なプリント配線板を提供している。また独自の穴加工技術を開発し、微細・高精度であり、複雑な形状にも対応する自由度の高い加工を実現した。

開発中の「MSAP」は、極薄銅箔の上をめっきで配線を形成する技術であり、回路の細線化に有利な工法である。これにより製品の小型化が可能となる。従来は、全面銅箔から不要な銅部をエッチングで除去する工法であるが、MSAPは必要な部分にのみめっきを積み上げて配線を形成する為、従来工法に比べ資源を有効に活用できる工法である。同社は、MSAP技術を用い、環境へ優しい高密度・高信頼性のプリント配線板を提供する。

株式会社伸光製作所
<https://www.shinkoss.co.jp>

超ハイテン鋼に対応できるマーキング技術を開発

山田マシンツールは、世界の特色ある複合加工用ツールリングの輸入販売と工業用マーキング装置の開発製造からライン敷設まで幅広い対応を行っている。

次世代自動車用として期待されている、1.5GPa級ハイテン材に対応する刻印技術が今、求められている。同社は、それに対応できる耐久性の高い刻印と打刻（マーキング）技術を開発した。

耐久性の高い刻印には、特殊ハイスを採用。また製作工程では、小径砥石に超音波振動を加える研削と、滑らかな表面処理を可能にするスキヤン研削を組み合わせた。これにより刻印の欠損にわたることができる。

1.5GPa級ハイテン材に対応する高耐久刻印と打刻技術の開発により、自動車の軽量化と衝突安全性の両立に貢献する。

山田マシンツール株式会社
<https://yamada-mt.co.jp>

第4工場稼働!! 半導体分野に照準

高洋電機は、タンクステンやハステロイなどの難削材をミクロン単位で加工する高精度で微細な技術に定評があり、自動車、産業機器、鏡前・医療機器など幅広い業界の部品加工を担っている。生産ロットは月産50個から100万个を超えるものまで、加工サイズはφ3mmからφ220mmまで対応。また、純タンクステン製六角穴付き標準ボルトを販売。ねじ加工やドリル加工など、沢山の技術要素が詰まっており、その技術をアピールする製品となっている。

本社工場敷地内に建設した第4工場が今年7月から稼働を開始した。鉄骨造り一部二階建て、延べ床面積は770平方メートル。超音波加工機や5軸加工機を導入し、石英ガラスやセラミックスなど新たな素材の加工にも取り組み、半導体分野向けの深耕を進める。加工レバトリを増やすことで、顧客ニーズへの対応力を強化し、新たなビジネスチャンスを開拓することにつながっていく。すでに半導体関連からの引き合いも来ており、同工場だけで初年度5千万円の売り上げを見込む。

今後は、新たに加工機械を導入する設備投資を計画するなど、新規市場・新規素材に積極的に対応していく。

高洋電機株式会社
<http://koyofirst.jp>